

【現場除雪事例：H13 北海道 102】

| | |
|--|---|
| 除雪工夫分類 | A2:気象情報確認・活用 / D2:路面・法面への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定 / F:その他 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 平成12年度帯広広尾自動車道 芽室町 西土狩東改良工事 |
| 施工場所 | 北海道河西郡芽室町西土狩 |
| 工期 | 平成13年3月6日～平成14年2月28日 |
| 使用機材 / 機械 | 除雪スコップ、ママさんダンプ / タイヤショベル 0.3m ³ 級、バックホウ 0.7m ³ 級、バックホウ 0.4m ³ 級、ダンプトラック 11t、ダンプトラック 4t |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>降雪が予想された場合、前日のうちに現場入口附近に除雪機械を集めておく。舗装道路を除雪する場合、舗装を削り込まない様に多少雪を残して除雪し、誘雪剤等によって残りの雪をとかす様にする。除雪スコップはプラスチック製では破損が激しいのでアルミ製を用いる。運搬路が狭いので、除雪排雪作業は大型機械（0.7m³ 級バックホウや11t ダンプ）を使わずに中型機械（0.4m³ 級バックホウや4t ダンプ）を使用する。排雪した雪を現場内空地に集積するにあたって、春の早い時期の融雪をうながす為に極力南側もしくは西側の陽あたりの良い、排水の良い所に集積する。</p> |
| <div data-bbox="379 1167 1222 1756" data-label="Image"> </div> <p>日当たりの良い所への集積</p> | |

【現場除雪事例：H13 石川県 1】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | C2:住民・通行者の安全 / A2:気象情報確認・活用 / D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 都市計画道路 空港軽海線 緊急地方道路整備（街路B）工事 |
| 施工場所 | 石川県小松市浜田町地内 |
| 工期 | 平成12年10月24日～平成14年3月20日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ除雪、凍結防止 / ホイルローダ（1.0m ³ バケット付）1.0m ³ バケット |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>歩行者通路の除雪、仮橋部の除雪は全面取り除くのではなく、滑り防止の為（凍結時）少量残す。凍結防止剤散布は、夜間凍結、降雪等天気予報に注意を払い、可能性がある場合、前もって散布した。仮設道路は、路面Asを力キ起こさぬよう除雪機械のバケットを最大に降ろさない。又、夜間作業になる為、一般車両から、除雪作業中が一目で認識できる回転灯、作業灯を全灯させ作業する。</p> |
| | |

【現場除雪事例：H13 北海道 21】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 / C4:土砂混入軽減・防止 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 石狩川改修工事の内 新旭川防災施設工事 |
| 施工場所 | 北海道旭川市金星町 |
| 工期 | 平成 13 年 6 月 19 日～平成 14 年 1 月 10 日 |
| 使用機材 / 機械 | タイヤショベル、バックハウコマツ PC120、アースドライバー（ロードヒーター）TLG-185SPY |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 公園内の芝を傷めないよう肩付近は人力にて明確に出す必要があった。また、除雪の際は土砂の混入にも留意した。除雪後は、表面の凍結融解の為、ロードヒーターを使用した。（施工時の雪、氷等の混入を防ぐ為） |



溶融状況（アースドライバー）

【現場除雪事例：H13 福島県 7】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | C4:土砂混入軽減・防止 / D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 第01 - 350 - 0298号 喜多方・会津坂下線 地方特定道路整備工事 |
| 施工場所 | 福島県耶麻郡塩川町大字会知地内 |
| 工期 | 平成13年8月3日～平成14年2月12日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ / バックホウ 0.6m3、ブルドーザーD40 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 道路面が砂利の為、除雪した雪に土砂・石が混入しない様、注意した。バックホウのバケットをツメに鉄板を張り付け、路面をキズ付けたり、みだしたりしない様にした。 |



作業状況

【現場除雪事例：H13 北海道 16】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般国道274号 清水町 石山道路改良工事 |
| 施工場所 | 北海道上川郡清水町 |
| 工期 | 平成13年2月22日～平成14年1月31日 |
| 使用機材／機械 | タイヤショベル 0.35m 級 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 除雪作業は、作業ヤードが狭いので小型のタイヤショベルと人力にて行った。除雪機械は小型のタイヤ式なので舗装道路を傷めずに現場内を自由に稼働可能であった。小型の機械のため人力併用が容易であった。 |



築堤出入口付近

【現場除雪事例：H13 北海道 40】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般国道239号 苫前町 共鳴橋仮道新設工事 |
| 施工場所 | 北海道苫前町古丹別 |
| 工期 | 平成13年12月1日～平成14年3月25日 |
| 使用機材／機械 | コベルコ SK-200 Su0.7m3 級、石川島建機 200J2 Su0.7m3 級 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 現場内に牧草地があるため、表土をめくったりして、地盤を乱さない様に、重機の手元に作業員をつけて行った。使用機械が現場除雪に適しているが、検討して過剰にならない様に作業した。 |



【現場除雪事例：H13 北海道 55】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般国道275号 浜頓別町 戸出除雪車旋回場設置外一連工事 |
| 施工場所 | 北海道浜頓別町字戸出 |
| 工期 | 平成13年11月6日～平成14年2月28日 |
| 使用機材／機械 | バックホウ 0.4m3 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 路面及び法面に損傷を与えないように地盤より10cm程度までバックホウにてすきとり、人力により地盤まで除雪した。 |



排雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 60】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 / C2:住民・通行者の安全 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般国道274号 号清水町石山道路舗装工事 |
| 施工場所 | 北海道川上郡 清水町 清水 国有林24林班(日勝峠7合目) |
| 工期 | 平成13年3月7日～平成14年1月31日 |
| 使用機材 / 機械 | バックホウ 0.4m ³ 級 (法面バケット) PC120 小松機械、モーターグレーダー (3.7m) GD-505A 小松機械、路面ヒーター (アースドライアー) ED3000C 石狩造機、塩カル散布車 (4t ダンプと散布機) 自社製品 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 路盤施工時に、新雪が降った時は、圧雪しないで人力で竹ぼうき及びスコップ等で路肩に寄せて、その後路面ヒーターで、雪を融かし極力路盤面を傷めないように施工した。舗装版に降雪があった場合、グレーダーにて路肩に雪堤を作り、ショベルバックホウにて路肩 (堆雪スペース) に集雪した。片側交互通工事に、一般車両を停止する場所等、スリップ防止のために、塩化カリウムを散布車にて一般車両影響区間全域の散布を行った。 |



路面ヒーター使用状況

【現場除雪事例：H13 北海道 111】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般道道高見西舎線浦河町上向別改良工事 |
| 施工場所 | 北海道浦河郡浦河町上向別 |
| 工期 | 平成 13 年 6 月 7 日～平成 14 年 2 月 26 日 |
| 使用機材 / 機械 | トラック除雪車 8t、タイヤショベル 8t、ブルドーザー 3t、バックホウ 0.7m3 級 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 工区入口から、現場までの除雪（通勤、資材運搬）現場内の除雪（作業開始のための除雪）法面の除雪（法面整形、張芝等がある場合）資材置場等の除雪（人力併用）工区入口から、現場まで一部舗装部分があるため、クローラ車は使用しないバックホウは法面バケットを装着する。 |



8t タイヤショベル

【現場除雪事例：H13 岩手県 5】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 上似内道路舗装工事 |
| 施工場所 | 岩手県花巻市上似内地内 |
| 工期 | 平成13年10月6日～平成14年3月20日 |
| 使用機材／機械 | バックホウ 0.4m ³ 、ブルドーザ 3t、除雪機（歩道用） |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 橋面上の除雪時、除雪機のカッターが床版上に当たらない様5cm上げてまず機械で除き、その後人力にて除雪。道路上の除雪は、周辺の側溝廻りを人力で除雪し、広い部分はバックホウにて除雪。 |



橋面の除雪状況

【現場除雪事例：H13 宮城県 8】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | D1:構造物への配慮 / D2:路面・法面への配慮 / C2:住民・通行者の安全 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 平成12年度県道改特定05001-002号 新田道路改良工事 |
| 施工場所 | 宮城県登米郡迫町新田地内 |
| 工 期 | 平成13年1月29日～平成14年1月31日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ、ほうき / バックホウ 0.4m ³ 、ブルドーザ 3t |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>構造物付近は、損傷をあたえないように人力にて除雪した。一度に現地盤まで除雪すると、地盤を傷つけるので3cm程度上げたところまで機械で除雪し、残りを人力で除雪した。ブルドーザで押し切れない時は、排土板付のバックホウで集積し排除した。搬入路として利用している周辺の町道も一緒に除雪した。</p> |
| | |

【現場除雪事例：H13 宮城県 12】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | A3:除雪範囲の明示 / D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 平成13年度 県砂地特28001-001号 江合川下流高水敷整備工事 |
| 施工場所 | 宮城県玉造郡鳴子町大口地内 |
| 工期 | 平成13年9月5日～平成14年3月22日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ / バックホウ 0.45m ³ |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 資材等には工事用シートにより覆い直接雪を付着させない様にし、目印（ポール等）を立てておき、資材等の破損を避ける為、人力で行った。搬入路の除雪は0.45m ³ バックホウにより行い、路面を痛めない様、5cm程度積雪を残す様に行った。 |



資材の養生状況

【現場除雪事例：H13 山形県 4】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 野中道路改良工事 |
| 施工場所 | 山形県鶴岡市大字播磨地内 |
| 工期 | 平成 13 年 9 月 11 日～平成 14 年 3 月 20 日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ、アルミスコップ、スノーダンプ、凍結防止材（バケツ） / バックホウ 0.7、バックホウ 0.4、大型ダンプ 15 t |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 法面除雪について 当日作業量を見極めて法面上部より下の方へバックホウで集積し仮設道路より大型ダンプに積込み排雪する。ブルドーザの除雪では完成している部分を傷つけてしまうので極力、バックホウで除雪を行い細部については人力で除雪を行う。 |



除雪状況

【現場除雪事例：H13 新潟県 9】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | D2:路面・法面への配慮 / A3:除雪範囲の明示 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 平成13年度 治建道路 第23-1-10号 儀明川治水ダム建設(一般)右岸市道付替兼用工区工事 |
| 施工場所 | 新潟県上越市大字向橋地内 |
| 工期 | 平成13年6月20日～平成14年2月22日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ、スノーダンプ / ブルドーザーBD-2(4t級) |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 舗装部の除雪は舗装面を傷めないよう注意し作業した工事用道路(市道)は、敷砂利がしてあるため、掘りすぎにならないよう注意した。路肩部に視線誘導標が入っているため、位置を確認してから作業をするようにした。 |



工事用道路除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 15】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定 / D2:路面・法面への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 国局第13 - 00 - 00 - 00号 国403号 一般国道特殊改良一種（坊金拡幅）工事 |
| 施工場所 | 新潟県東頸木郡安塚町大字坊金地内 |
| 工期 | 平成13年7月13日～平成14年3月15日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ、スノーダンプ / バックホウ 0.4m3 級 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>降雪が予想される場合はブルーシートで構造物を覆い降雪に備える。降雪の場合は、大半の雪をバックホウで除雪し、その後ブルーシート上の雪を人力で除雪する。作業場の除雪完了後バックホウで現場内の空地に集積する。人力除雪する場合は、スコップ又はスノーダンプを使用するが、アルミ製の軽いもので雪が付着しないようにワックスを塗っておくと作業がしやすい。機会除雪する場合はバックホウを使用するが、舗装道路の場合は路面を傷つけないようにゴムのキャタピラ機械で一回に多くに雪を移動できる排土版付きのバックホウを使用した。</p> |



構造物をブルーシートで養生する